



あやめ



文責：生徒指導主事 川崎幸司

新年を迎え、さあ！3学期スタートです



1月10日(水)、18日間の冬休みも終わり、無事に3学期の始業式を迎えることができました。

3学期は新しい年、2024年(令和6年)のスタートでもあります。気持ちを新たに、新年の目標(決意)を胸にして始業式を迎えた人も多いと思います。

また、3学期は今年度(令和5年度)のまとめとなります。これまでの課題を克服し、ひと回り成長して4月からの新年度を迎えられるようになることを願っています。

さて、1・2年生は、今学期それぞれにスキー教室を実施します。生徒のみなさんは冬の代表的なスポーツの「スキー」にチャレンジとなります。学年の仲間とともに、厳しい寒さのなかで、白銀にシュプールを描くスキー教室。事前の取り組みも含めて現在最終確認をしています。健康管理をしっかりと、安全に気をつけて全員が参加できるように期待しています。

3年生には、いよいよ「進路実現」に向けて、勝負の3学期となります。すでに、私立高校の推薦入試がスタートし、2月には公立高校の前期入試、私立高校の一般入試、3月の公立高校の後期入試と続きます。多くの生徒の志望校が決まり、あとは入試当日を迎えるところまでできています。義務教育9年間を経て自分の力で人生を切り拓く初めて経験する入試です。だからこそ、焦らずコツコツとしてきた日々の地道な取り組みが大切です。しっかり健康管理をしてください。進路実現に向けて取り組んでいる皆さんを、先生達も全力でサポートし、応援しています。

保護者の皆様には、冬休み中の生徒の生活について、ご理解・ご協力をありがとうございました。3学期もよろしくお願いいたします。

あらためて、「当たり前」は「特別なこと」 なんだと感じています……

今年に入って間もない元旦、とんでもない光景をテレビ画面の中に目の当たりにしました。それは石川県で発生した地震のことです。「能登半島地震」で被災した方々には心よりお見舞いを申し上げます。青天の霹靂(へきれき)とでも言いましょうか、北陸の多くの方々は正月を家族でのんびり過ごしていたと思います。そんな団らんのひとときを一瞬で悪夢に変えてしまった地震が起きました。そして間髪入れず津波が到達し、その後の大火事によって街が一変しました。今後の一刻も早い復旧、復興を願ってやみません。

思えばコロナ禍の3年間は「当たり前」の学校生活を送ることができませんでした。また、遡(さかのぼ)ること13年前の東日本大震災は未だ復興半ばです。

私達は「普段通り」「いつも通り」を「当たり前」と感じ、それがいつまでも続くことが自然なことと認識してしまいがちです。しかし、この近年の出来事から、平穏な生活は決して「当たり前」ではなく、むしろ「特別なこと」「最良なこと」かもしれません。さらに言うと、そして今後も都合良く続くとは限らないことと考えていた方が良いのかも強く感じています。

だからこそ、私達は仲間を大切に、仲間と協力しながら、「今」を大切に、「今」に満足することなく向上心を持って邁進していこうと思います。

< Aim High ! >

お知らせ

都道府県駅伝女子1月14日(日)

男子1月21日(日)号砲

本校2年生の

長澤杏さん(女子)・鴨作大夢さん(男子)も、山梨県選手団のメンバーとしてエントリーされました。健闘を祈ります。

(参考記事：山梨日日新聞1月6日(土)付)



三学期始業式の様子

